

平成 28 年度 伊勢地域公共交通会議 第 2 回 議事要旨

■ 開催概要

日時：平成 29 年 1 月 12 日（木）13:30～

場所：伊勢市役所 東庁舎 3 階 防災対応スペース 1

出席者：全 9 名

市民代表 2 名

一般乗合旅客自動車運送事業者

1 名（三重交通（株）伊勢営業所長代理）

一般旅客自動車運送事業者

1 名（三重県タクシー協会伊勢支部長）

中部運輸局三重運輸支局

1 名（首席運輸企画専門官）

三重県伊勢警察署

1 名（交通官）

三重県

1 名（地域連携部交通政策課長）

伊勢市

2 名（市長・都市整備部長）

事務局

4 名（伊勢市都市整備部交通政策課）

■ 議事内容

■ 平成 28 年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

事務局より、平成 28 年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について、資料を用いて説明。

事業評価については、事業評価が地域でより役立つように、使用する様式を改正した。地域で力を入れて取り組んでいることは記載してほしい。また、事業評価の当日は協議会が説明する時間は 5 分程度である。様式に記載した内容からアピールポイントを中心に抜粋し、1～2 枚程度のポンチ絵にまとめた上で、説明を行ってはどうか。利用促進キャンペーンについては、端緒がこの会議で皆さんからいただいたアイデアであったことも記載してはどうか。（中部運輸局三重運輸支局）

取組内容はコミュニティバスを中心に記載されているが、地域間幹線系統に関する取組みの記載を拡充してはどうか。（三重県）

提案事項に関しては、いただいた意見をふまえて、原案どおり承認をいただいた。

■ 廃止代替自主運行バス（玉城線）の運賃割引の設定について

事務局より、廃止代替自主運行バス（玉城線）の運賃割引の設定について、資料を用いて説明。

運転免許返納割引は玉城線のみが対象か。（市民代表）

三重交通が運行するバス路線の内、高速バスを除くほぼ全ての路線が対象となる。
（一般乗合旅客自動車運送事業者）

市町、警察が連携してセーフティバスの広報を実施してほしい。（中部運輸局三重運輸支局）

2月上旬にプレス発表を予定している。（一般乗合旅客自動車運送事業者）

運転免許の自主返納については、今後団塊の世代が返納する年代になってくるため、件数の増加が見込まれる。家族が返納を促しても本人が承諾しない場合、警察署員が訪問して返納していただく取組みも行っている。警察署でも返納はできるが、土曜日・日曜日・祝日は受付を行っていない。平成29年1月8日から運転免許センターで毎週日曜日の午後2時30分から午後3時30分まで運転免許証の返納の受付を開始した。
（三重県伊勢警察署）

⇒運転免許の自主返納については、警察と連携しながら取組みを進めていきたい。（事務局）

提案事項に関していただいた意見をふまえて原案どおり承認をいただいた。

■ 平成29年度 事業計画（案）について

■ 平成29年度 事業収支予算（案）について

平成29年度 事業計画（案）及び平成29年度 事業収支予算（案）は相互に関連するため一括審議とし、事務局より資料を用いて説明。

おかげバスの広告協賛をいただいている企業を委員の皆様へ披露してください。
（会長）

⇒おかげバスの広告協賛については、（株）ぎゅーとら様、（有）豚捨様、三重交通（株）様、（有）へんばや商店様、でぐち内科クリニック様、山本医院様の6社から協賛をいただいている。（事務局）

「バスの乗り方&交通安全」教室の開催について、小学校へ児童を迎えに行って実施してはどうか。（市民代表）

⇒検討中である。小学校で同教室に充てられる時間の制約もある。（事務局）

「バスの乗り方&交通安全」教室の開催について、高齢者を対象に実施してはどうか。
(三重県)

提案事項に関して原案どおり承認をいただいた。

■ おかげバス運行10周年記念事業(案)について

事務局より、おかげバス運行10周年記念事業(案)について、資料を用いて説明。

事業の目的は利用者を増やすことである。地域の人々の利用が増えるようにポスターを掲示する等、事業の周知を図ってほしい。(一般旅客自動車運送事業者)

事業の実施にあたっては景品表示法等に抵触することがないように注意してほしい。
(会長)

⇒法に触れることがないように、不明な点は監督省庁に照会しながら事務を進める。(事務局)

提案事項に関して原案どおり承認をいただいた。

○その他

■ 「第4回 伊勢市バスポスターコンクール」の結果について(報告)

事務局より、第4回 伊勢市バスポスターコンクールの結果について、資料を用いて説明。

■ 地域間幹線系統路線の運行状況について(報告)

三重県より、地域間幹線系統路線の運行状況について、資料に基づいて報告。

御座線、宿浦線、五ヶ所線に関する三重県の意見の欄では、高校生を主なターゲットとして記載されているが、高校生はスクールバスを利用する場合もあり、今後生徒数も減少傾向にあるため、ターゲットには通院利用等を含めたほうがいいのではないかと。(伊勢市)

利用者の割合としては学生が多い。スクールバスが運行されていない高校の生徒の利用がある。また、定期券が安くなったため、以前であれば下宿していた地域の生徒が定期券でバス通学をするようになった。(一般乗合旅客自動車運送事業者)